

第5回学校運営協議会 記録

1 日 時 令和5年2月9日(木) 14:10~15:10

2 場 所 会議室

3 参加者 10名(欠席 日前、久徳、水野、大井、島瀬、橋本)

4 次第

(1) 開会挨拶 (校長)

今回、授業参観をしていただいた。保護者の方に教室の中に入っていただいたのは、今年度初めだった。少しずつ、元の学校生活に戻ってきていることを感じている。1月下旬ごろから感染状況が落ち着いている。卒業までこの状態が続くことを願っている。

(2) 協議

ア 今年度の保健関係報告について(学校保健委員会)

○ 養護教諭から説明(定期健康診断結果、衛生調べ結果)

イ 学校評価(後期)結果報告(教頭)

ウ 今年度の活動報告(校長)

エ 来年度の学校教育計画について(校長)

オ 情報交換・その他

○ 授業を参観させてもらい、子どもたちが張り切って学習している姿を見ることができうれしかった。

○ 学校の挨拶への取組を民生委員の会で紹介させてもらった。他の民生委員からは、挨拶が良くなったという声が聞かれた。協議会委員として、これからも学校の取組を紹介していきたい。

○ 我が子は今年で卒業するが、今後も自分にできることは協力していきたい。

○ 城東中学校新1年生の制服が変わる。

○ 今年度から本会の委員となり、学校や子どもたちについての情報を共有することができ有難かった。

(3) 講評 (教育推進員 西村久二夫 氏)

○ 子どもたちの健康に関する報告や新型コロナウイルス感染症の現状を聞き、学校での対応がしっかりなされていることが分かった。

○ 学校評価結果から、自尊感情が高まってきていることが分かった。今年度学校で取り組んできた挨拶運動を通して、子どもたちが人とのつながりを感じ、成果が上がってきているのではないか。

○ グランドデザインを見ると、新しい時代の教育が記されている。大事なことは、生涯を通して地域を支える人材づくりであり、それをどうやって実現するか考えていってほしい。

- 明倫小は、子どもも大人も人材の宝庫だと思う。ただ、課題もある。人が多くなればなるほど、合意形成意思決定が難しくなるという点である。そこに学校運営協議会が大きな役割を占める。学校運営協議会で合意形成を行っていき、学校のために力を尽くしていただきたい。

